

第12回教師&
専門家のための

不登校問題研修会

『子どもの心を揺り動かす生徒指導とは』

○開催主旨

不登校児童・生徒数は教育機関の対策や努力にもかかわらず、年々増加傾向が続いています。更に年齢層の幅の広がりとともに質的にも様々なタイプが存在し、同時に多様な様相を示してきています。また社会問題として捉える傾向も出てきました。不登校のことが学校教育や家庭教育として、問題にされ始めてからもかなりの時間が経過し、学校教育、心理、社会福祉、医学、保育、社会学等、広い範囲の領域において、様々な試みがなされてまいりました。しかし、一領域の対応では効果的な結果が得られず、今日、総合的かつ連携的な取り組みと、理解及び援助者の育成が急務になってきております。

今日、不登校・いじめだけではなく、殺傷事件、家庭内暴力、校内暴力等、様々な子どもの問題が起きています。そこで12年目の今年度は『子どもの心を揺り動かす生徒指導とは』を探りながら、今日の教育課題「いじめ・不登校・学級崩壊・ADHD(注意・欠陥/多動性障害)等の問題を一緒に考えていきます。

生徒指導、養護、相談室の先生方だけでなく、不登校にかかわる現場の先生方、児童相談所の相談員の方、また広く不登校にかかわる領域で研究をしている方々を対象に行います。

講師の先生方は実際の不登校児童・生徒をよく理解していて、それぞれの専門分野で活躍している第一人者の方々にお願いしております。

受講される皆様が不登校に関する理解と取り組み(対応)を様々な角度から学び、その実践に生かして頂くことができれば幸に存じます。

開催要項

日時 平成14年8月21日(水)～23日(金)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町三番一号)

受講費 全期間 20,000円(学生10,000円)※学生の方は学生証コピーを同封してください。

二日受講 16,000円(学生8,000円) / 一日受講 8,000円

・一日参加の場合は学生も一般と同じ金額になります。

定員 700名(受付は先着順、定員になり次第締め切りになります。)

受講対象 教師及び教育関係者・児童相談所相談員・教育相談担当者(カウンセラー・セラピスト・ケースワーカー・臨床心理士・医学関係者・学生)・不登校にかかわる方・保護者の方

申込方法

①パンフレット裏面の申し込み欄に必要事項を明記のうえ、下記にご郵送あるいはファクシミリでお送り下さい。申込書を送付いただいた段階でお席を確保致します。(確認のご連絡は致しませんのでご容赦ください。)

〒233-0013 横浜市港南区丸山台2-26-20 教育研究所内 不登校問題研究会事務局

TEL. 045-848-3761(代) FAX. 045-848-3742(<http://member.nifty.ne.jp/KYOKEN/>)

②申込書送付後、なるべく早く下記いずれかの方法で受講料をお振込み下さい。入金が確認され次第、受講証・会場地図他と領収書をお送りいたします。入金が遅くなる場合はご連絡ください。

・現金書留 〒233-0013 横浜市港南区丸山台2-26-20/教育研究所内 不登校問題研究会事務局

・銀行振込 みずほ銀行洋光台出張所(398) 普通 1310372 不登校問題研究会 幹事 牟田 武生

・郵便振替 00260-1-69863 不登校問題研究会 ※①・②の手続きが完了して申し込みが成立致します。

主催 (社) 青少年健康センター・不登校問題研究会

後援 文部科学省

全国都道府県教育委員会連合会

教育新聞社

宿泊のご案内

会場となるセンター内の宿泊施設の利用が出来るよう、お部屋をご用意しています。(個室・バス/トイレ付・食事なし)ご希望の方は、必ずお電話で事務局までご連絡下さい。また、部屋数に限りがあります。定員になり次第締め切りとなりますので、ご希望の方はお早めにお問い合わせ下さい。

担当: 田村

宿泊費用: 1泊/5,000円(お部屋代のみ、食事なし・税込み)

申し込み受講のご注意

①申込書は楷書でご記入下さい。また、夏休み期間中のご送付先として、自宅住所、電話番号もご明記下さい。

②原則としてご入金後の取り消しはできません。

③郵便振替でのご入金は着信までに1週間ほどかかります。8月10日以降にお申込みの場合は、必ず電話でお席を確保の上、ご入金ください。

④テキスト・資料などは当日会場でお渡しいたします。

⑤受講証は必ずご持参下さい。

⑥会場での録音・録画はお断りいたします。

⑦天災等により、一部地域で交通機関の混乱等があっても研修会が開催された場合は参加費の返金はできません。ご了承下さい。

⑧止むを得ない事情により、講師を変更する場合がございます。その際はご容赦ください。

⑨昼食はセンター内レストラン(180席)及び周辺の飲食店などを各自ご利用下さい。

平成 14 年度 夏期セミナー/第 12 回教師&専門家のための不登校問題研修会

※初日の開場は会場の都合により午前 10 時ごろを予定しています。

| | 時間 | 研修テーマ・講師 | 講義内容紹介 |
|-----------|--------------------------|---|---|
| 八月二十一日(水) | 11:00 ~ 12:00 | 『不登校問題等に対する教育行政の取組』 文部科学省初等中等教育局児童生徒課 生徒指導調査官 黒岩 万里子 | 教育改革元年の今年、生徒指導上の問題としてのいじめ・不登校・学級崩壊・校内暴力などまだ予断を許さない状況にある。教委・学校における行政の取組みについて考える。 |
| | 13:00 ~ 14:00 | 『子ども・若者の居場所』について 厚生労働省雇用均等・児童家庭局環境課 児童健全育成・児童環境づくり専門官 鈴木 雄司 | 児童虐待から不登校問題等、今日の家庭は様々な問題を抱えている。家庭に行政サイドから支援サービスを行なう取組みの一つとして『子ども・若者の居場所』づくりがある。 |
| | 14:20 ~ 16:10 ◆ | 『不登校調査から見えてきたもの』 文部省「不登校追跡調査」代表 大阪市立大学 大学院教授 森田 洋司 | 平成 10 年から 3 年間の歳月をかけた文部省「不登校追跡調査」。そこから不登校問題の本質が見えてくる。不登校の実情、学校や社会の取組みは如何にあるべきか。シャープに鋭く核心にせまる。 |

| | | | |
|-----------|--------------------------|--|--|
| 八月二十二日(木) | 10:00 ~ 12:00 ◆ | シンポジウム『私にとって不登校とは』 コーディネーター NHK 週刊子どもニュースキャスター 池上 彰 様々なタイプの不登校経験者 3 名 | 不登校体験者の生の声は不登校にかかわる教師・相談員にとっては、抱えている臨床を理解する最高の手がかりになる。子ども達が感じた学校社会・先生・学習・進路・家族等やひきこもり時の心情を聞き、明日の教育相談に役立てたい。『毎年・好評の講座』 |
| | 13:15 ~ 16:25 ◆ | 『学校における対応①～ADHD～』 『学校における対応②～不登校～』 ～ 質 疑 ～ 国立特殊教育総合研究所情緒障害教育研究室長 花輪 敏男 | 「ADHD」についての正しい知識や情報を整理し、学校現場ですぐに役立てることが出来るように最先端の研究をしている講師が講義する。また、「不登校」についても教師としての経験を生かした豊富な教育相談の技術を学ぶ。質疑時間を十分に確保。『好評の講座』 |

| | | | |
|-----------|--------------------------|---|--|
| 八月二十三日(金) | 10:00 ~ 11:50 ◆ | 『不登校から引きこもりへ』 北の丸クリニック所長・青少年健康センター常任理事 倉本 英彦 | ひきこもりの臨床現場で精神医療に取り組み第一線の医師でもあり、ひきこもりの現状調査の研究者でもある講師から具体的に「不登校からひきこもり」を実情と対策を聞く。 |
| | 13:05 ~ 14:05 ◆ | 『ひきこもりの長期化・社会環境の変化と不安の質』 教育研究所所長・教育コンサルタント 牟田 武生 | 「学校に行きなさい」から「無理して行かなくて良いよ」という対応の変化はひきこもりの子どもの心にどのような変化を起こしたのか？心理検査の調査から教育臨床への提言 |
| | 14:25 ~ 16:15 ◆ | 『不登校心理とその予防、再登校への援助』 国際学院埼玉短期大学教授 附属教育相談研究センター所長 金子 保 | 不登校問題の大ベテラン。実践家でもあり研究の第一人者の講師から毎年学ぶことは数多い。豊富な教育相談の技術と金子理論は明日の教育相談活動に勇気と力を与えてくれる。 |

◆のマークは時間内に質疑時間があります。

不登校問題研修会 申込書(平成 14 年 月 日)

☆ _____

| | | |
|-----------------|----------------------|---|
| 勤務先名 (領収書宛名) | | 申し込み・受講のご注意をお読みになり楷書で丁寧にお書きください。受講証の発送が夏休みに入ることも考えられますので、ご自宅の住所は必ずお書きください。 |
| 参加者名 | 〒 _____ TEL _____ | 該当する□にチェックし、金額をご記入ください。 受講日 □21 日 □22 日 □23 日 申込方法 □郵送 □Fax お支払方法 □現金書留 □銀行振込 □郵便振替 お振込金額 _____ 円 |
| | 〒 _____ TEL _____ | 受講日 □21 日 □22 日 □23 日 申込方法 □郵送 □Fax お支払方法 □現金書留 □銀行振込 □郵便振替 お振込金額 _____ 円 |

